

ゆめしま

# 大阪夢洲IR・カジノ 「実施協定(契約)」締結NO!



9月21日、大阪府議会開催初日、夢洲IR・カジノ「実施協定案」の認可申請に抗議し大阪府庁本舎前に約70人が集まり、抗議の声をあげた。



9月28日、IR・カジノ実施協定(本契約)調印式。吉村府知事、横山大阪市長、カジノ事業者MGMビル・ホーンバックルCEO等。

## ●事業契約の「解除権」を定めた、夢洲IR・カジノ「実施協定(本契約)」を締結

- ▶9月28日、大阪府と大阪IR株式会社(米カジノ会社MGMリゾート・オリックス等)は、夢洲IR・カジノ事業誘致の正式な契約に当たる「実施協定」を締結しました。今秋から関連工事に着手し、2030年秋頃の開業を目指すとしています。
- ▶しかしこの契約には、大きな問題点があります。大阪IR株式会社が「事業前提条件」が整っていないと判断した場合、違約金なしで事業契約を「解除」できる権利(2026年9月迄有効)が契約書に定められているのです。
- ▶ズブズブと沈み続ける軟弱地盤を埋め立てた夢洲は、地盤沈下、関西万博と併せた工事の遅れ、資金調達、汚染土・土地改良、ギャンブル依存症対策、自治体・住民負担、格安賃料、住民合意など多くの問題を抱えています。問題が解決できないため、いざという時にはいつでも事業から撤退できる「解除権」を定め、諸問題を先送りするというとんでもない契約です。
- ▶契約解除の条件は7つ。①税金が業者の不利になる ②カジノ管理委員会規則が厳しくなる ③資金調達に難が出る ④地盤沈下・液状化・土壌汚染対策などの問題やインフラ工事のためカジノ工事が制限、費用増額する ⑤新型コロナウイルスの影響が出る ⑥オリックス・MGMの財政状況の悪化 ⑦コントロールできない何かが起こる。何でもあり(驚)!大阪IR株式会社がこれらの条件のうち1つでもクリアできていないと判断すれば、事業からの撤退が可能です。

## ●「解除権」規定は、大阪府市の住民にとって大きな不利益条項です

- ▶契約では、夢洲IR・カジノ増築による大阪市の追加費用としてこれまでの土地改良費788億円に加え約257億円を負担することになっています。さらにIR・カジノ誘致のため、大阪市港営事業会計に莫大な借金を背負わせます。今でも関西万博建設費用は膨れ上がり、大阪市の来年度予算は概算で300億円超の赤字見通しとなっているのに、大阪府市民はさらに多額の負担を押し付けられることになるのです。
- ▶事業から撤退するリスクを抱えたまま、税金を使って夢洲IR・カジノ工事を進め、大儲けするのはカジノ事業者やゼネコンなどグローバル企業だけ。大切な税金と公金(事業会計の借金)は、大阪府市民の豊かな生活を保障するために使うべきです。カジノは大阪の「唯一の成長戦略」ではありません。
- ▶夢洲IR・カジノ事業計画は直ちに中止すべきです。 【裏面に「抗議声明」を載せています】

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2号カサビアンカ関目103

電話：090-8536-3170 メール：stop-casino@vosakaf.net